

【様式】

平成30年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 伊勢工業高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		・ 地元企業の人材育成を軸に、一人ひとりが望む進路の完全保障を実現する工業高校
(2)	育みたい 児童生徒像	○基本的な生活習慣を身につけ、社会常識のある明るく素直な生徒(ひとづくり) ○産業界から求められる技術・技能習得の意欲あふれる生徒(ものづくり)
	ありたい 教職員像	○学校教育目標の達成に向けて、教職員が教育活動の実践や改善のために、相互に共同し切磋琢磨する関係性(同僚性)を保ちつつ、失敗を恐れずに前向きにチャレンジし続ける教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p>〈生徒〉 卒業後の進路希望は、就職が約8割、進学が約2割である。また、資格の取得や活発な部活動に期待している</p> <p>〈保護者〉 保護者の多くは、子どもの地元企業への就職を希望している。</p> <p>〈地域〉 元気で素直な生徒の育成に期待をしており、特に地元企業からの期待が大きい。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
		<p>〈家庭〉 日常の子どもの様子を知らせてほしい。</p> <p>〈中学校〉 学校の様子、卒業生の近況報告、入試状況を知らせてほしい。</p> <p>〈地域社会〉 地域の活性化のため、地域行事や防災面で施設や生徒の協力をお願いしたい。</p>	<p>〈家庭〉 本校教育方針への理解と協力をお願いしたい。</p> <p>〈中学校〉 継続的な指導が必要な個々の生徒の情報共有をお願いしたい。</p> <p>〈地域社会〉 本校の教育活動を理解し、積極的に協力して欲しい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○工業高校のPRとして出前授業や各種イベントへの参加は大いに役割を果たしている。ただ、教員の負担も大きいのではないかと。少人数できめ細かく指導する実習などを公開してアピールするなど、負担も少なくPRできる方法を考えることも必要である。</p> <p>○働き方改革が言われる中で、先生方の時間管理、過重労働対策が今後必要になる。</p> <p>○コミュニケーション能力の育成が求められているが、特に社会において必要とされるコミュニケーション能力をつけるためには指導に時間と手間がかかると思われる。先生や先輩とのコミュニケーションが大切である、</p> <p>○クラス減となるなかで、進路先の割り振り、企業への対応が難しくなるのではないかと。生徒の進路希望を叶えるため、より丁寧な進路指導が必要になる。</p> <p>○伊勢工業高校が地域に根付いていくためには、生徒一人ひとりが、伊勢工業高校の生徒として地域に認められることが大切である。そのために、身だしなみ、けじめ等、なぜその必要があるのかも含めて指導していかなければならない。</p>	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>〈現状〉在学中に様々な資格取得を目指し、卒業後は地元企業へ就職する生徒が多いことから、生徒・保護者・地域のニーズには合致している。</p> <p>〈課題〉企業が求める人材は、現在より一段高いところ(異世代間でも適応できるコミュニケーション能力、基礎的な学力の確実な習得、より高度な資格取得等)にあり、そのニーズに応えていく必要がある。</p>	

学校 運営等	<p>&lt;現状&gt;本校の教育活動を理解してもらうため、小学校への出前授業や地域のイベント等に積極的に参加しており、地域からは一定の評価をいただいている。地域も非常に協力的である。</p> <p>&lt;課題&gt;活発な部活動に加え、地域からの期待や要望に応えようとするあまり、土日のイベント参加も多くなり、教職員も子どもたちも疲れてきており健康管理が心配である。参加するイベントの精選・工夫や日常業務の改善による総勤務時間の縮減を積極的に行い、教職員や子どもたちの過重負担を減らしていく必要がある。</p>
-----------	--

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図る。</li> <li>・基本的な生活習慣と身だしなみや挨拶などの社会常識を身につけた明るく素直な生徒を育成する。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を高めるため、地域との連携を深める。</li> <li>・第1希望の進路の獲得を目指し、基礎学力向上に向けた取り組みの充実と表現力・コミュニケーション能力の育成に取り組む。</li> <li>・教職員間の対話の促進と、執務環境の改善や総勤務時間の縮減など職員の労働安全衛生の向上に努める。</li> </ul>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教科指導	<p><u>分かりやすく、きめ細かい授業を展開するとともに、学校生活全般を通して基礎・基本の学力および産業人としての専門的な能力の定着を図ります。</u></p> <p><u>「高志」ある生徒が、卒業時に取得すべき資格等を明確にして、取得するための体制づくりに取り組み、成果を上げます。</u></p> <p>(1)1年生から計画的、段階的に取得技術の高度化を図るとともに、実用に即した資格取得に重点をおいて、補習授業等も行いながら教育実践に努めます。</p> <p>(2)実習・課題研究や製図の取り組みの中で、技術技能の向上並びに表現能力に長けた生徒の育成を進めます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア)ものづくり大会の参加 ・ ものづくり東海大会へ出場</p> <p>(イ)技能検定3級程度の技能練習</p> <p>(ウ)建築設計競技会の参加</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>※資格取得【別表】参照</p> <p>(3)図書館の取組として、生徒の「生きる力」を育むため、各教科・各分掌との連携のもと、生徒の世界を広げる読書案内・学習活動につながる教育支援の充実に努めます。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>生徒1人当たり貸出冊数 5冊以上</p>	(年度末および適宜記載)	

<p>生徒指導</p>	<p><u>基本的な生活習慣と身だしなみや挨拶などの社会常識を身につけた、明るく素直な生徒を育成します。</u></p> <p>(1)挨拶の励行や時間の尊重、身だしなみや礼儀作法に気を配り、ルールを遵守するなど、生活規範を身につけた生徒を育てます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 全教員による登下校校門指導と校内巡視(毎日)、挨拶の励行 100%</p> <p>(イ) 駅前・町内巡視の実施</p> <p>(ウ) 5分前精神の徹底(時間を守る・遅刻しない)</p> <p>(エ) 授業に集中させるために入室許可証の発行実施</p> <p>(オ) 頭髪服装指導(通年)・身だしなみ講座(4月)の実施</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(ア) 挨拶の励行 100%</p> <p>(イ) 遅刻の回数 昨年度比25%減</p> <p>(2)日々の授業や学校行事等、教育実践全般を通じて継続的モラル教育を実践します。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(ア) 欠席日数の減少</p> <p>(イ) 校則違反等による特別指導件数の減少(10件以下に減)</p> <p>(3)工業高校生としての連帯感を高め、良好な人間関係の構築に努めます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 新入生研修の実施(4月)</p> <p>(イ) 各科や各学年を通じた指導</p> <p>(ウ) 部活動での人間関係の育成</p> <p>(エ) 生徒個別面談(年間2回)や学校生活等に関するアンケート(各学期)の実施などによる、いじめの防止、早期の把握・解消</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>いじめの認定数ゼロ(いじめアンケートより)</p> <p>(4)学校の様子を積極的に保護者に発信し、生徒・保護者との意思疎通に努め、生徒指導の意義や目的への理解を高めます。(保護者や学校関係者以外の意見、HR活動や個別懇談の状況把握等の実施)</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 保護者会やPTA諸会合での説明</p> <p>(イ) 学年懇談会での話し合い</p> <p>(ウ) 生徒個別面談を年間2回実施、学校生活等に関するアンケートを各学期に実施</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>
-------------	--	---------------------

<p>進路指導</p>	<p>第1 希望の進路が獲得できてこそ、活気ある工業高校が実現できます。基礎学力向上に向けた取り組みの充実と、面接が「自分の人となりの魅力を伝える」場となるよう表現力・コミュニケーション能力の育成に取り組みます。</p> <p>(1)キャリア教育を推進して、生徒・保護者の希望に合った進路実現をめざします。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 県内外への企業訪問をさらに拡充し、求人企業数・求人数・内定者数の向上に取り組みます。</p> <p>(イ) キャリア教育を推進して、正しい職業観・勤労観を身に付けさせ、主体的に進路選択進路決定できる生徒を育て、生徒のニーズに応じた望ましい就職・進学先の決定につなげます。</p> <p>(ウ) 表現力・コミュニケーション能力向上のため、全職員及び外部講師を活用し「面接指導」、「みだしなみ講座」等を実施・充実させます。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(ア) 一次試験合格率、就職90%以上・進学100%を目指します。</p> <p>(イ) インターンシップの実施人数を昨年度の2倍を目指します。</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	
<p>改善課題</p>			
<p>(年度末に記載)</p>			

【別表】

資格取得 合格者数の目標値	資格、検定	機械科	電気科	建築科
	危険物取扱者丙種	1年生 80人	1年生 39人	
	危険物乙種4類	2・3年生 40人	40人	2・3年生 3人
	ガス溶接技能講習	2年生 80人		
	基礎製図検定	2年生・5人		
	機械製図検定	3年生・40人		
	技能検定（機械保全）3級	10人		
	技能検定（機械検査）3級	10人		
	小規模ボラ講習	50人		
	電気工事士2種		2年生 50人	
	電気工事士1種		2・3年生 10人	
	電気主任技術者3種		3年生 1人	
	第二級陸上特殊無線技士		2・3年 10人	
	第二級海上特殊無線技士		2・3年 10人	
	福祉住環境コーディネーター3級			全学年 5人
	2級建築施工管理技術検定試験			3年生 3人
	カラーコーディネーター3級			全学年 8人
	建築CAD検定3～4級			2・3年生 70人
	レタリング検定3、4級			全学年 40人
	建設業経理事務士3級			2・3年生 15人

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p><u>教職員間の対話の促進と、執務環境の改善や総勤務時間の縮減など職員の労働安全衛生の向上に努めます。</u></p> <p>(1)教職員が意欲的に業務に取り組み充実感を得ることができるよう、組織の在り方や業務内容の見直し、過重労働の削減などにつながる快適な職場作りに取り組みます。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>(ア) 会議時間を短縮し60分以内に終了します。</p> <p>(イ) 定時退校日を月1日設定します。</p> <p>(ウ) 部活動休養日を週1日設定します。</p> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>(ア) 放課後に実施し60分以内に終了できなかった会議数 10以内</p> <p>(イ) 定時退校日に定時退校できなかった教職員数 10人以内</p> <p>(ウ) 部活動休養日を設定した部活動数 100%</p> <p>(エ) 1人あたりの月平均時間外労働時間 昨年度比 15%減(平均 22 時間(昨年度 25.9 時間)</p> <p>年間休暇取得日数 昨年度比 1 日増 14 日/人(昨年度 12.3 日)</p> <p>月 80 時間を超える時間外労働者を 36 人に減少(昨年度年間延べ 53 人)</p> <p>(オ) 職員満足度調査を実施し実態を把握すると共に、働きやすい職場への改善につなげます。</p> <p>(2)分掌、学年団のブロックを活用するなどし、更に対話を促進します。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <p>職員室の席配置を学年団のブロックで配置し、日常の対話を促進します。</p>	(年度末および適宜記載)	

地域との連携	<p>南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を高めるため、地域との連携を深めます。</p> <p>(1)地域関係者(小中学校、学習塾、地元自治会、関係機関)との連携強化に向けて、各種行事やイベントに積極的に参加します。</p> <p>【活動指標】 小学校出前授業の実施、伊勢工業高校テクノドリームフェアの開催、中学校教員対象説明会の開催、七夕大そうじへの参加など</p> <p>【成果指標】 参加者のアンケート、感想から、南勢地区唯一の工業高校としての存在意義を確認し、改善につなげます。</p> <p>(2)地元企業との連携強化に向けて、双方向からの情報発信・相互理解を深めるための行事を実施します。</p> <p>【活動指標】 地域における就職促進につながるよう、地元企業の高校内企業説明会を実施します。</p> <p>【成果指標】 企業、生徒双方の満足度90%以上(満足度アンケートより)</p>	(年度末および適宜記載)	
<b>改善課題</b>			
(年度末に記載)			

## 5 学校関係者評価

明らかに なった 改善課題と次へ の取組方向	(年度末に記載)
---------------------------------	----------

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動につ いての改善策	(年度末に記載)
学校運営につ いての改善策	(年度末に記載)